

採択基準	基本観点	発 行 者 名
		02 東書
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	(1) 全体としての特徴や創意工夫  別表 1	<p>学習指導要領の目標及び内容、内容の取り扱いに示す事項を適切に取り上げ、日本や世界の地理的認識を養う内容について、地図とともに豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>日本の領域（北方領土等）について、「日本の領土とそのまわり」で、与那国島、沖ノ鳥島、南鳥島、択捉島を、写真と解説文で取り上げている。</p> <p>国土の位置、地形や気候などの自然の概要をとらえるため、「日本とそのまわり」「日本の自然 気候・地形」また、資源や産業の現状と土地利用等との関わりをとらえるため、「日本の産業 農業・水産業・工業」などを掲載している。</p> <p>一つ一つの地図や資料を大きく表示したり、写真を多く掲載したりしている。</p>
		<p>「地図帳の使い方」で地図帳全体の特長と使い方をわかりやすく説明している。また、「地図のきまり」で、地図の基礎的な知識について説明している。</p> <p>各ページに物差しのイラストがついた縮尺が掲載され、物差し上に実際の距離と地図上の1cmが表す距離を記載している。</p> <p>地形表現、索引の使い方、目的に応じた地図の使い分けについて記載している。</p> <p>各ページに「陸の高さと海の深さ」が分かるように土地の高さを色で表した凡例を記載している。</p>
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮  別表 2	<p>「地図帳の使い方」で地図帳全体の特長と使い方をわかりやすく説明している。また、「地図のやくそく」で、地図の基礎的な知識について説明している。</p> <p>各ページに物差しのイラストがついた縮尺が掲載され、物差し上に実際の距離と地図上の1cmが示す距離を記載している</p> <p>地形表現、索引の使い方、目的に応じた地図の使い分けについて記載している。</p> <p>各ページに「陸の高さと海の深さ」が分かるように土地の高さを色で表した凡例を記載している。</p>
		<p>各ページの「ホップ/ステップ/マップでジャンプ」のコーナーで、地図を活用して解く様々な問いを出すことによって考えたり、説明したりする工夫をしている。</p> <p>「地図帳の使い方」で「くわしく見る地図」、「地方別にみる地図」、「広く見る地図」を示し、それぞれの地図でどのようなことが読み取れるのかを記載している。</p> <p>世界地図に同縮尺の日本を記すことで、大きさや形を比較できるようにしている。</p>
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮  別表 3	<p>各ページに「地図マスターへの道」のコーナーや、キャラクターの吹き出しの中に、地図を活用しながら考えたり、説明したりする課題を記載している。</p> <p>「地図帳の使い方」で、「広く見わたす地図」、「地方を見る地図」、「くわしく見る地図」を示し、それぞれの地図でどのようなことが読み取れるのかを記載している。</p> <p>世界地図に同縮尺の日本を記すことで、大きさや形を比較できるようにしている。</p>

発 行 者 名
46 帝国
<p>学習指導要領の目標及び内容、内容の取り扱いに示す事項を適切に取り上げ、日本や世界の地理的認識を養う内容について、地図とともに豊富な資料を用いて取り上げている。</p> <p>日本の領域（北方領土等）について、「日本とそのまわり」で、日本固有の領土として、北方領土、竹島、尖閣諸島をはじめ、与那国島、沖ノ鳥島、南鳥島、択捉島を、写真と解説文で取り上げている。</p> <p>国土の位置、地形や気候などの自然の概要をとらえるため、「日本の領土とそのまわり」「日本の自然のようす（1）地形」「日本の自然のようす（2）気候」また、防災との関わりについて「日本の自然災害と防災（1）（2）」、さらに資源や産業の現状と土地利用等との関わりをとらえるため、「日本の産業のようす（1）農水産業」「日本の産業のようす（2）工業・エネルギー」などを掲載している。</p>
<p>「地図帳の使い方」で地図帳全体の特長と使い方をわかりやすく説明している。また、「地図のやくそく」で、地図の基礎的な知識について説明している。</p> <p>各ページに物差しのイラストがついた縮尺が掲載され、物差し上に実際の距離と地図上の1cmが示す距離を記載している</p> <p>地形表現、索引の使い方、目的に応じた地図の使い分けについて記載している。</p> <p>各ページに「陸の高さと海の深さ」が分かるように土地の高さを色で表した凡例を記載している。</p>
<p>各ページの「地図マスターへの道」のコーナーや、キャラクターの吹き出しの中に、地図を活用しながら考えたり、説明したりする課題を記載している。</p> <p>「地図帳の使い方」で、「広く見わたす地図」、「地方を見る地図」、「くわしく見る地図」を示し、それぞれの地図でどのようなことが読み取れるのかを記載している。</p> <p>世界地図に同縮尺の日本を記すことで、大きさや形を比較できるようにしている。</p>

採択基準	基本観点	発行者名
		02 東書
	(3) 児童が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 別表 4	「地図帳の使い方」の中で、索引の使い方を、例を挙げながら順序立てて説明したり、地図に合わせた縮尺の活用の仕方を説明したりして、自主学習に取り組むための見通しがもてるようにしている。  各ページの「ホップステップマップでジャンプ」のコーナーで自主的に地図を活用して調べたり、考えたりすることを促す課題を設定している。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表 5	主に防災、歴史、自然に関して、発展的な内容や今日的な課題を取り扱っている。  防災については、「日本の自然災害」で、火山の噴火、地震、洪水、土砂災害、雪の被害、津波など日本の自然災害と災害に備える国や地域の取組について記載している。  自然については、「日本の自然」の中で日本と世界の山、川、湖を記載している。
	(5) 他の教科等との関連 別表 6	理科との関連で、「日本の自然災害」に火山の噴火、地震、洪水、土砂災害、雪の被害、津波などを掲載している。また、大きな被害をもたらした台風の進路についても記載している。  人権教育との関連で、「北海道地方」にアイヌ語地名と現在の地名の関係を記している。  特別の教科 道徳（自然への親しみ、郷土の文化や生活への親しみ）との関連で、「日本の歴史と文化」において、全国のいろいろな祭りを地図とイラストを使って示したり、日本にある世界文化遺産を地図上の位置や写真、解説文で示したりしている。また、「日本の都道府県の統計」におもな伝統工芸品を示している。

発行者名
46 帝国
「地図帳の使い方」の中で、索引の使い方を、例を挙げながら順序立てて説明したり、地図に合わせた縮尺の活用の仕方を説明したりして、自主学習に取り組むための見通しがもてるようにしている。  各ページに出てくるキャラクターの吹き出しの中に、自主的に地図を活用して調べたり、考えたりすることを促す課題を設定している。
主に防災、歴史、自然に関して、発展的な内容や今日的な課題を取り扱っている。  防災については、「日本の自然災害と防災（1）」で、火山の噴火や地震の分布図また、世界の地震の分布図とその他の災害事例を写真で掲載している。また、「日本の自然災害と防災（2）」で洪水や地震などの災害に備える国や地域の取組について記載している。  自然については、「日本の自然のようす」で日本と世界の山、川、湖を記載している。
理科との関連で、「日本の自然災害と防災」に火山の噴火、地震、洪水、土砂災害、雪の被害、津波などを掲載している。また、大きな被害をもたらした台風の進路や防災マップの作り方についても記載している。  人権教育との関連で、「北海道地方」にアイヌ語地名と現在の地名の関係を記している。  特別の教科 道徳（自然への親しみ、郷土の文化や生活への親しみ）との関連で、「日本の歴史と世界文化遺産」において、日本にある世界文化遺産を地図上の位置や写真、解説文で示している。また、「日本の統計」にふるさと自慢やおもな伝統工芸品を示している。

採択基準	基本観点	発行者名
		02 東書
3 使用上の便宜が工夫されていること。	(1) 表記・表現の工夫 別表 7	<p>カラーユニバーサルデザインの観点から全ページにわたり配色およびデザインに配慮している。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>二次元コードによりデジタルコンテンツを多数掲載している。</p> <p>書体は何種類かで表記している。漢字にはふりがなをふっている。太文字にしたり大きさや色を変えたりしている。</p> <p>全ての漢字にふりがなを付けている。</p> <p>先生と小学生のキャラクターが登場するページでは、地図の見方のポイントや地図学習の課題へのヒントなどを吹き出しにして、口語表現で伝えている。</p>

発行者名
46 帝国
<p>カラーユニバーサルデザインの観点から全ページにわたり配色およびデザインに配慮している。</p> <p>ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>二次元コードによりデジタルコンテンツを多数掲載している。</p> <p>書体は何種類かで表記している。漢字にはふりがなをふっている。太文字にしたり大きさや色を変えたりしている。</p> <p>全ての漢字にふりがなを付けている。</p> <p>スズメの先生と小学生のキャラクターが登場するページでは、地図の見方のポイントや地図学習の課題へのヒントなどを吹き出しにして、口語表現で伝えている。</p>

教科・種目名 地図 調査研究事項

別表 1

調査項目	02 東書
日本の領域の取り扱い（竹島や北方領土、尖閣諸島等）	<p>◇日本の 47 都道府県 (p4～6)</p> <p>◇日本とそのまわり (p15～16) 北の端 択捉島「現在もロシアが不法に占拠を続け、日本は一貫して返還を求めている」と記載している。(写真あり)</p> <p>◇日本列島—南西諸島—(p19) 尖閣諸島を「日本固有の領土です」と明記している。(写真あり)</p> <p>◇中国地方 (p25) 竹島を「日本固有の領土だが韓国に不法に占拠され、日本は抗議を行っている」と記載している。(写真あり)</p> <p>◇北海道地方 (p51) 北方四島は島名のみ記され「北方領土」という記載はない。</p> <p>◇日本の歴史 (p79) 明治初期に確定した日本の領土 尖閣諸島「1895 年日本に編入」 竹島「1905 年日本に編入」 北方領土「1875 年千島列島を日本領、樺太をロシア領とする」と記載している。</p> <p>◇日本の歴史 (p79) 第二次世界大戦後の日本の領域 尖閣諸島「1972 年返還」(琉球諸島を含む) 竹島は特記事項なし 北方領土「現在ロシアが占拠している地域」 北方領土以北の千島列島及び、南樺太「現在、帰属未定の地域」</p>
日本の地方・地域全体を表す地図の数(全体、地方別、日本と周りの国)	<p>◇全体 2</p> <p>◇地方別 9</p> <p>◇日本と周りの国 2</p>
日本の地方・地域の一部を表す地図の数(全体、地方別、日本と周りの国)	28
日本の地方・地域の一部を表す資料図の数(全体、地方別、日本と周りの国)	<p>◇日本全体の統計資料 15</p> <p>◇各都道府県の統計資料 8</p> <p>◇日本と周りの国を比較したり関わりをまとめたりした資料 13</p> <p>◇日本全体の統計資料 15</p> <p>◇各都道府県の統計資料 8</p> <p>◇日本と周りの国を比較したり関わりをまとめたりした資料 13</p> <p>◇全体 2</p> <p>◇地方別 9</p> <p>◇日本と周りの国 2</p>

46 帝国
<p>◇日本の領土とそのまわり (p31～32) 北方領土以北の千島列島及び、南樺太を「日本が領有を放棄した地域、現在は帰属が未定」と記載している。</p> <p>◇日本の領土とそのまわり (p31～32) 日本の東西南北端 択捉島「1945 年からロシアに占拠されたままで自由に行き来できない」と記載している。(写真あり)</p> <p>◇日本の領土とそのまわり (p31～32) 日本固有の領土 尖閣諸島を「日本固有の領土です」と明記している。(写真あり)</p> <p>竹島を「日本固有の領土ですが、韓国が不法に占拠している」と記載している。(写真あり)</p> <p>北方領土を「日本固有の領土だが、ロシアが不法に占拠している」と記載している。(写真あり)</p> <p>◇日本の領土とそのまわり (p31～32) 地図マスターへの道 領土を問う問題として北方領土の島名を問う問いを出題している。</p> <p>◇南西諸島、中国地方、北海道地方 他の地名と同様の扱いをしている。</p> <p>◇日本の歴史 (p109～110) 明治時代初めの日本の領土 尖閣諸島「1895 年尖閣諸島を沖縄県に編入」 竹島「1905 年島根県に編入」 北方領土「1855 年日露通好(和親)条約」「1875 年樺太・千島交換条約」</p> <p>◇日本の歴史 (p109～110) 第二次世界大戦後の日本の領土 尖閣諸島「1972 年 アメリカ合衆国から日本に返還された」 竹島「第二次世界大戦前の日本」として地図上で色分け 北方領土「サンフランシスコ平和条約後の日本」として地図上で色分け</p>
<p>◇全体 2</p> <p>◇地方別 13</p> <p>◇日本と周りの国 2</p>
30
<p>◇日本全体の統計資料 18</p> <p>◇各都道府県の統計資料 12</p> <p>◇日本と周りの国を比較したり関わりをまとめたりした資料 11</p> <p>◇日本全体の統計資料 18</p> <p>◇各都道府県の統計資料 12</p> <p>◇日本と周りの国を比較したり関わりをまとめたりした資料 11</p> <p>◇全体 2</p> <p>◇地方別 13</p> <p>◇日本と周りの国 2</p>

教科・種目名 地図 調査研究事項

調査項目	02 東書
日本の地方・地域の一部を表す写真の数(全体、地方別、日本と周りの国)	◇地方・地域の土地の様子を表す写真 24 ◇地方・地域の文化や景観を表す写真 27 ◇地方・地域の産業に関する写真 9 ◇地方・地域の災害や防災に関する写真 7
世界の諸地域を表す地図の数(全体、大陸と海洋、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、南北アメリカ、オセアニア)	11
世界の諸地域を表す資料図の数	23
世界の諸地域を表す写真の数	20
国土の位置、地形や気候等の自然の概要をとらえるための、地図や写真、グラフの効果的な提示	◇国土の位置 「日本とその周り」(p15～16) 日本の北の端、西の端、東の端、南の端となる島の島名と位置、概要を記載するとともに、それぞれの島の様子を写真でも紹介している。  日本の排他的経済水域について記載している。 日本の国土に関する統計を記載している。  「地図のぼうげんに出発」(p1～2)「世界の国々」(p100～102) 日本を中心とした世界地図を記載している。 「ヨーロッパ」「北アメリカ、南アメリカ」(p61～64) 同じ緯度の位置に日本列島を記している。  ◇地形 「日本の自然～地形～」(p67～68) 段彩図(陰影なし)で土地の高さや地形を説明している。 日本の主な山や川、湖を紹介している。 「日本列島」(p17～52) それぞれの地図で陰影のない段彩図を使用している。  ◇気候 「日本の自然～気候～」(p69～67) 1月と7月の日本の気温と降水量の資料を掲載している。 また日本各地の雨温図も掲載している。 気候に影響を与える海流や季節風について記載している。(模式図あり) 「日本の自然災害」(p97～98) 大きな被害をもたらした台風の進路を記載している。 豪雨、大雪の被害について概要と写真を記載している。

46 帝国
◇地方・地域の土地の様子を表す写真 9 ◇地方・地域の文化や景観を表す写真 24 ◇地方・地域の産業に関する写真 6 ◇地方・地域の災害や防災に関する写真 9
10
21
15
◇国土の位置 「日本の領土とそのまわり」(p31～32) 日本の西端、南端、東端、北端となる島の島名と位置、概要を記載するとともに、それぞれの島の様子を写真でも紹介している。 日本固有の領土として、北方領土、竹島、尖閣諸島を紹介している。 日本の排他的経済水域について記載している。  「地図で世界発見!」(p1～3)「世界の国々」(p130～132) 日本を中心とした世界地図を記載している。 「ヨーロッパ・アフリカ」「ヨーロッパ」「北アメリカ・南アメリカ」「アメリカ合衆国」(p87～94) 同じ緯度の位置に日本列島を記している。  ◇地形 「日本の自然のようす(1)地形」(p95～96) 段彩図(陰影なし)で土地の高さや地形を説明している。 日本の主な山や川、湖を紹介している。 「日本列島」(p33～80) それぞれの地図で陰影のない段彩図を使用している。  ◇気候 「日本の自然の様子(2)気候」(p97～98) 1月と8月の日本の気温と降水量の資料を掲載している。 また日本各地の雨温図も掲載している。 気候に影響を季節風について記載している。(模式図あり) 「日本の自然災害と防災(1)過去の災害事例」(p99～100) おもな台風の進路を記載している。 豪雨、大雪の被害について概要と写真を記載している。 最近の気象災害の発生年月日を年表表記している。

教科・種目名 地図 調査研究事項

調査項目	02 東書
<p>資源や食料生産、工業生産、運輸等の産業の現状と土地利用、都市分布、交通網等との関わりの効果的な提示</p>	<p>◇産業の現状  「日本列島」(p19～52)  日本各地の主な産業を産業の記号で表している。  「日本の産業」(p71～73)  農業については、地域による農業生産の違いについて円グラフで記載している。併せて農業生産額についても記載している。また、日本各地の主な農産物をイラストで示している。  水産業については、主な漁港や主な漁獲物、水揚げ量を記載している。また、漁港の様子をイラストと写真で提示している。</p> <p>工業については、日本の工業の分布を地図上に示し、主な工業地域の工業生産の状況をグラフで提示している。また、自動車工場と製鉄所の分布を地図で表している。</p> <p>「日本の都道府県の統計」(p83～84)  各都道府県の産業生産額を記載している。  各都道府県の主な農水産物を記載している。  「世界のおもな国の統計」(p85～86)  日本と世界各国との貿易品、貿易額を記載している。</p> <p>◇産業と土地利用、都市分布、交通網の関係  「日本の交通、都市」(p74)  日本の主な都市と、高速道路、鉄道、空港、港の位置関係を記載している。また主な都市の人口を記載している。  ◇日本の貿易(p75～76)  日本の貿易の様子を貿易額、貿易相手国、輸出品と輸入品を記載している。また、貿易相手国・地域の変化や貿易額、輸出品と輸入品の変化を記載している。</p>

46 帝国
<p>◇産業の現状  「日本列島地図」(p21～30,p33～80)  日本各地の主な産業を産業の記号で表している。</p> <p>「日本の産業のようす(1)～農水産業～」(p103～104)  農業については地域による農業生産の違いについて帯グラフで記載している。併せて農業生産額についても記載している。また、日本各地の主な農産物をイラストで示している。  水産業については、主な漁港や主な漁獲物、水揚げ量を記載している。また漁港の様子を写真で提示している。  農産物と水産物の生産量の変化を折れ線グラフで記載している。  「日本の産業のようす(2)～工業・エネルギー～」(p105～106)  日本の工業の内訳を掲載している。  日本の工業の分布を地図上に示し、主な工業地域の工業生産の状況をグラフで提示している。また、製油所と石油化学コンビナート、自動車の輸出の様子を写真で掲載している。  工業地域と高速道路を合わせて地図に記載している。  日本の発電の様子と発電の移り変わりを記載している。  「日本の統計」(p111～112)  各都道府県の産業の生産額を記載している。  主な農産物と工業製品の生産量を記載している。  「世界の統計」(p113～114)  日本と世界各国との貿易品、貿易額を記載している。</p> <p>◇産業と土地利用、都市分布、交通網の関係  「日本と世界の結びつき～貿易・食料問題・観光」(p107～108)  日本の貿易の様子を貿易額、貿易相手国、輸出品と輸入品を記載している。また、貿易額、輸出品と輸入品の変化を記載している。  日本の食料自給率と食品ロスについて記載している。  世界の食料問題について記載している。  日本と世界の人を通じた結びつきを記載している。</p>

教科・種目名 地図 調査研究事項

別表 2

調査項目	02 東書
<p>地図記号、方位などの基礎的・基本的な地図の使い方の記述</p>	<p>◇地図のきまり(p9~14) 方位磁針の使い方、四方位と八方位、地図上の方位について記載している。 地図記号について記載している。(世界の地図記号について紹介している) 凡例や縮尺の説明や縮尺を使った距離の求め方についてイラストを交え記載している。 地形表現について記載している。 索引の使い方について記載している。 目的に応じた地図の使い分けについて記載している。</p> <p>◇日本列島地図、世界地図(p15~66) 各ページに物差しイラストがついた縮尺が掲載され、物差し上に実際の距離と地図上の1cmが表す距離を記載している。 各ページに「陸の高さと海の深さ」が分かるように土地の高さを色で表した凡例を記載している。</p>
<p>世界の国々、日本の都道府県、市町村を調べるための配慮</p>	<p>◇もくじ(p1) 「広く見る地図」「地方別にみる地図」「くわしく見る地図」「世界地図」「地図学習」「資料地図、統計表」「さくいん」がそれぞれマークで分類されている。</p> <p>◇都道府県の区分(p5~6) 都道府県の地方の境を色分けし記載している。</p> <p>◇世界の国々(p100~102) ヨーロッパ中央部は拡大し掲載している。</p> <p>◇地図帳の使い方(p13) 索引の使い方について例を挙げ、その手順を記載している。</p> <p>◇さくいん(p87~96) 「チェック欄」「地名の種類を表す記号」「地名」「都道府県名」「ページ」「列の記号」「行の記号」の順に記載している。 日本の部と世界の部に分けて記載している。 地名だけでなく名所や史跡、世界遺産、施設もマークで分類し検索できるようにしている。</p>
<p>歴史遺産、文化遺産、自然遺産を調べるための配慮</p>	<p>◇日本の伝統文化(p81~82) 国内の世界遺産の一部を写真で紹介している。「ほかの世界遺産などについても調べてみよう」と課題提起している。</p> <p>◇さくいん(p87~96) 世界文化遺産、世界自然遺産を表す記号で分類している。</p>
<p>3、4年生の地域学習(京都府、各市町村の学習)に活用できる地図、資料、写真等の数</p>	<p>◇地図 4 ◇資料 11 ◇写真 2</p>

46 帝国
<p>◇地図のやくそく(p11~15) 方位磁針の使い方、四方位と八方位、地図上の方位について記載している。 地図記号について記載している。 色分けによる土地利用について記載している。</p> <p>◇地図帳の使い方(p17~20) 凡例や縮尺の説明や縮尺を使った距離の求め方についてイラストを交え記載している。 地形表現について記載している。 索引の使い方について記載している。 目的に応じた地図の使い分けについて記載している。</p> <p>◇日本列島地図、世界地図(p21~94) 各ページに物差しイラストがついた縮尺が掲載され、物差し上に実際の距離と地図上の1cmが示す距離を記載している。 各ページに「陸の高さと海の深さ」が分かるように土地の高さを色で表した凡例を記載している。</p>
<p>◇もくじ(p1) 「日本各地の地図」や「世界地図」など地図の種類を色分けして示している。</p> <p>◇都道府県の名前と位置(p128~129) 都道府県の地方の境を色分けし記載している。</p> <p>◇世界の国々(p130~132) ヨーロッパ中心部は拡大し掲載している。</p> <p>◇地図の使い方(p19) 索引の使い方について例を挙げ、その手順を記載している。</p> <p>◇さくいん(p115~123) 「地名の種類を表す記号」「地名」「都道府県名」「ページ」「列の記号」「行の記号」の順に記載している。 日本の部と世界の部に分けて記載している。 地名だけでなく歴史地名、世界遺産も色分けをして分類し検索できるようにしている。</p>
<p>◇日本の世界遺産(p127) 国内の世界遺産全てを地図上に示している。またそのうち一部を写真で掲載している。</p> <p>◇さくいん(p115~123) 世界文化遺産、世界自然遺産を色で分類している。</p>
<p>◇地図 8 ◇資料 7 ◇写真 3</p>

教科・種目名 地図 調査研究事項

調査項目	02 東書
6年生の歴史学習に対して活用できる地図、資料、写真等の数	◇地図 2 ◇資料地図 9 ◇年表・資料 3 ◇写真(歴史を表す建造物や領土に関するもの) 15
日本の統計表(項目、ページ数)	◇日本の都道府県の統計(p83~84) 都道府県名 都道府県庁の所在地とその人口(2020年) 面積(2020年) 人口(2020年) 人口密度(2020年) 農業生産額【米・野菜・果実・畜産】(2019年) 漁業生産額(2019年) 工業生産額(2019年) 年間商品販売額(2020年) 国宝・重要文化財の数(2022年) おもな伝統工芸品 おもな農水産物・郷土料理
世界の統計表(項目、ページ数)	◇世界のおもな国の統計(p85~86) 州 国名 首都 面積(2020年) 人口(2020年) 人口密度(2020年) おもな言語 日本への輸出額(2020年) 日本へのおもな輸出品 日本からの輸入額(2020年)

46 帝国
◇地図 6 ◇資料地図 6 ◇年表・資料 9 ◇写真(歴史を表す建造物や領土に関するもの) 21
◇日本の統計(p111~112) 都道府県 都道府県庁の所在地とその人口(2021年1月) 面積(2021年) 人口(2021年) 人口密度(2021年) 農業生産額【米・野菜・果実・畜産・木材・魚かい類】(2019年)※米のみ(2020年) 工業生産額【鉄鋼金属・機械・化学・食品】(2019年) 1日1人あたりごみ排出量(2019年) 森林面積の割合(2020年) おもな伝統的工芸品と生産都市
◇世界の統計(p113~114) 州名 正式国名 首都 面積(2020年) 人口(2020年) 人口密度(2020年)  日本からの輸入【額・おもな貿易品】(2019年) 日本への輸出【額・おもな貿易品】(2019年)



教科・種目名 地図 調査研究事項

別表3

調査項目	02 東書
言語活動を充実させる工夫（思考力、判断力、表現力を育む配慮）	◇各ページの「ホップステップマップでジャンプ」のコーナーで、地図を活用して解く様々な問いを出すことによって考えたり、説明したりする工夫をしている。
体験的な活動やそれに基づく表現活動の一層の充実を図るための工夫	◇各ページに出てくるキャラクターの吹き出しの中に、方位磁針の使い方や距離の測り方など、体験的な活動を促す内容を記載している。 ◇「世界全図と地球儀」で実際に地球儀を使って、方位や距離、大きさや形を調べる活動を記載している。
多面的、多角的な見方や考え方を養うための配慮	◇地図の冒頭に「地図のぼうげんに出発！World Map」と「日本の47都道府県」が示しており、各地の特徴や特産物をイラストで示して記載している。 ◇各ページにそれぞれの地域が、日本全体のどの位置にあるのかが分かるように、「この地図の位置」という地図資料が添付され、より大きな縮尺での当該地図の位置関係を記載している。 ◇歴史的な事象や名称などを記載している。 ◇各都道府県の特産物や産地が分かるように、イラストを掲載している。 ◇「地図帳の使い方」で「くわしく見る地図」、「地方別にみる地図」、「広く見る地図」を示し、それぞれの地図でどのようなことが読み取れるのかを記載している。(P14) ◇沖縄島の地図に同じ縮尺の大阪と東京の中心部(P20)、世界のページでは、同じ緯度においた同じ縮尺の日本や同じ縮尺で正反対に写した日本を記載し、大きさや形が比較しやすいようにしている。(P59・62～64) ◇「アフリカに生息するおもな動物たち」や「世界のいろいろな動物たち」を記載している。(P60) ◇「ヨーロッパのいろいろな料理」や「世界のいろいろな料理」を記載している。(P62) ◇「日本の自然」で、地形や気候のようすなど、日本の自然のようすについて記載している。また、日本と世界のおもな山や川、湖を記載して、比較できるようにしている。(P67～70) ◇「日本の産業」では、農水産業、工業、交通、都市のようすについてグラフや写真を用いて詳しく記載している。(P71～74) ◇「日本の貿易」では、日本の輸出入の様子をグラフや図を用いて詳しく記載している。(P75～76)

46 帝国
◇各ページに「地図マスターへの道」のコーナーや、キャラクターの吹き出しの中に、地図を活用しながら考えたり、説明したりする課題を記載している。
◇作業コーナー「トライ！」の問題が設けてあり、体験的な活動を促すような記載をしている。 ◇各ページの「地図マスターへの道」のコーナーで地図活用の問題に挑戦する活動を記載している。 ◇「地図のやくそく」や「地図の使い方」のページでは、方位磁針を使った方位の調べ方や、縮尺から実際の距離の測り方を記載している。 ◇「世界と地球儀」のページでは、地球儀と世界地図を使って、方位や距離、面積や形を調べる活動を記載している。
◇地図帳の冒頭に世界地図が示しており、各地の特徴や特産物をイラストで示したり、いろいろな国の名前を英語でも表記したりしている。 ◇「地図マスターへの道」のコーナーの中で、地図を活用した様々な観点からの問題を出題し、多様なものの見方や考え方が養えるように配慮している。 ◇歴史的な事象や名称などを記載している。 ◇各都道府県の特産物や産地が分かるようにイラストを掲載している。 ◇「地図帳の使い方」で、「広く見わたす地図」、「地方を見る地図」、「くわしく見る地図」を示し、それぞれの地図でどのようなことが読み取れるのかを記載している。(P20) ◇「日本の領土とそのまわり」では、領海・領空・領土・接続水域・排他的経済水域・公海などを模式図で分かりやすく表している。(P31) ◇国際化が進む福岡市の様子が記載されている。(P38) ◇広島市の地図に原爆による被害状況の様子を記載している。(P43) ◇濃尾平野の輪中における洪水への備えについて記載している。(P60) ◇「日本の首都・東京」のページでは、主な大使館の位置を国旗で示している。(P67) ◇北海道のアイヌ語地名が記載している。(P78) ◇択捉島の横に同じ縮尺の沖縄島(P78)、世界のページには、同じ緯度に置いた同じ縮尺の日本(P87・89・91・94)、地球の正反対に置いた日本(P92)を記載し、大きさや形が比較しやすいようにしている。 ◇地形や気候のようすなど、「日本の自然のようす」について記載している。(P95～98) ◇「日本の産業のようす」(農水産業や工業・エネルギー)についてグラフや写真を用いて詳しく記載している。(P103～106)


教科・種目名 地図 調査研究事項

調査項目	02 東書
	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「日本の歴史」では、日本の歴史年表と世界とのかかわりについて記載している。(P77～80)</li> <li>◇「日本の伝統文化」では、日本の歴史的景観や祭り、食文化について写真を用いて分かりやすく記載している。</li> <li>◇「オリンピックとワールドカップ」で、過去のオリンピック開催地やサッカーのワールドカップが開かれた国を地図上に開催年とともに記載している。(P85)</li> <li>◇「世界の州とおもな海洋の広さ」で、南北が逆転した世界地図で海洋の広さを示している。(P86)</li> <li>◇「日本の自然災害」で、災害の事例やその写真、地震の震源地とマグニチュード、活火山、台風、土砂災害などの被害の大きかった場所、台風の進路を記載している。また、災害に備えてハザードマップを紹介している。(P97～99)</li> </ul>
<p>社会的事象の特色をとらえる読図に関する技能を高めるための工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各ページに土地の高さと海の深さを示す色の一覧を記載している。</li> <li>◇各ページに縮尺のものさしと八方位が示された方位磁針を記載している。</li> <li>◇地図帳の使い方を示している。(P13～14)</li> </ul>

46 帝国
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「日本の自然災害と防災」について4ページにわたり記載しており、防災マップの作り方も紹介している。(P99～102)</li> <li>◇「日本と世界の結びつき」(貿易・食料問題・観光)について、日本の食料自給率もイラストとグラフで示しながら記載している。(P107～108)</li> <li>◇「持続可能な開発目標(SDGs)」のページでは、世界の課題や各地の取り組みなどについて記載している。(P125～126)</li> <li>◇「日本の世界遺産」について、写真も用いて分かりやすく紹介している。(P127)</li> <li>◇「都道府県の名前と位置」のページでは、都道府県の形や文字に注目して名前や位置を考えると分かりやすいことや、手話で表す都道府県について紹介している。(P128)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇各ページに縮尺のものさしと八方位の示された方位磁針を記載している。</li> <li>◇地図帳の使い方を示している。(P17～20)</li> <li>◇広く見わたす地図を掲載し、大まかな全体の様子を捉えやすくしている。</li> </ul>

教科・種目名 地図 調査研究事項

別表 4

調査項目	02 東書
<p>自主学習についての記載事項（見通しをもった学習の進め方、まとめ方、家庭学習）</p>	<p>◇「地図帳の使い方」の中で、索引の使い方を、例を挙げながら順序立てて説明したり、地図に合わせた縮尺の活用の仕方を説明したりして、自主学習に取り組むための見通しをもてるようにしている。</p> <p>◇各ページの「ホップ/ステップ/マップでジャンプ!」のコーナーで自主的に地図を活用して調べたり、考えたりすることを促す課題を設定している。</p>
<p>一般図の読み取り方、関連図や資料の見方・収集・活用・整理など調べ学習の方法</p>	<p>◇「地図のきまり」 方位 (P9)</p> <p>◇「地図のきまり」 地図記号 (P10)</p> <p>◇「地図のきまり」 凡例、きょり (P11)</p> <p>◇「地図帳の使い方」 凡例、さくいん (P13)</p> <p>◇「地図帳の使い方」 縮尺 (P14)</p>
<p>作業的・体験的な学習活動例、書き込みページ等</p>	<p>◇「日本の47都道府県」(P4~6)「これらのイラストの都道府県はどこにあるか、下の地図からさがしてみよう。」</p> <p>「都道府県名に動物の名前が入っているところを左の地図からすべてさがしてみよう。」 「海に面していない都道府県はいくつあるかな。」</p> <p>◇「空からまちを見てみよう」(P7~8)「①『地上から見たまちのようす』の場所は②③④では、どこにあるかな。探してみよう。」 「ななめ上から見たまちのイラストから、まちには何があるのかを探してみよう。」</p> <p>◇「地図のきまり」(P9~12)「教室の黒板、窓、ろうかは、あなたの席からどの方向にあるかな。方位じしんで調べよう。」 「オリジナルの地図記号を考えてみよう。」</p> <p>「福岡市から太宰府天満宮までのきょりを求めよう。」</p> <p>「つくば市から東京までのきょりを求めよう。」 「京都駅から二条城へ行って、それから平安神宮に行ったよ。ものさしを使って移動したきょりをはかろう。」 「あなたのまちの地図をつくってみよう。」</p> <p>◇「日本とそのまわり」(P18)「大阪から東京の直線きょりをはかろう。」 「函館(新函館北斗駅)~鹿児島(鹿児島中央駅)までの新幹線のルートを目指でなぞり、ルートにある都府県庁の所在地をすべてあげよう。」</p> <p>◇「沖縄島」(P20)「ほかの地域ではあまり見られない農産物の記号を三つ探してみよう。」</p> <p>◇「九州地方」(P22~22)「記号を探そう。」 「本州から九州へ渡る交通路を、この地図の中から三つ見つけてみよう。」 「この地図の福岡県のなかに、古くから日本とアジアのかかわりがあったことがわかる場所が複数あるよ。一つは鴻臚館跡、あと三つを探してみよう。」</p>

46 帝国
<p>◇「地図帳の使い方」の中で、索引の使い方を、例を挙げながら順序立てて説明したり、地図に合わせた縮尺の活用の仕方を説明したりして、自主学習に取り組むための見通しをもてるようにしている。</p> <p>◇各ページに出てくるキャラクターの吹き出しの中に、自主的に地図を活用して調べたり、考えたりすることを促す課題を設定している。</p> <p>◇各ページ「地図マスターへの道」のコーナーで、自主的に地図を活用して調べたり、考えたりすることを促す課題を設定している。</p>
<p>◇「地図のやくそく(1)」 方位 (P11~12)</p> <p>◇「地図のやくそく(2)」 地図記号 (P13~14)</p> <p>◇「地図のやくそく(3)」 色(土地利用) (P15~16)</p> <p>◇「地図帳の使い方(1)」 記号と色(凡例) (P17~18)</p> <p>◇「地図帳の使い方(2)」 さくいん・縮尺・きょり (P19~20)</p>
<p>◇「地図で世界発見！」(P1~6)「下の絵はどの国にあるかな。(パンダ・ピザ・野球)」 「3年生から始まる外国語活動でも地図帳を使ってみよう。」 「いろいろな国のこんにちはを言ってみよう。(イギリス・ロシア・ケニア・サウジアラビア・インド・オーストラリア・中国・韓国・日本・アメリカ合衆国・ブラジル)」 「あなたの住む都道府県を地図からさがして、有名なものの名前といっしょに書いてみよう。」</p> <p>◇「地図の世界へようこそ」(P7~8) 「空を飛ぶ鳥の目線で、学校のまわりを見てみよう。」 「図の中からりくさんを見つけて、いる場所を答えよう。」</p> <p>◇「地図ってなんだろう」(P9~10) 「地図と写真で小学校を見つけて丸をつけよう。」 「①の写真にある①、②、③はそれぞれ何か、②の地図からさがして答えよう。」</p> <p>◇「地図のやくそく」(P11~14)「地図で方位をたしかめよう」「方位記号たしかめて、地図中の□に正しい方位をかきこもう。」 「地図記号を使おう(地図のそばには、下のような「記号の説明」もかきましよう。」 「イの地図の□に入る地図記号を。「記号の説明」を見てかきこもう。」</p> <p>◇「地図のやくそく」(P15~16)「土地の使われ方を色分けしよう(「色分けの説明」を地図のそばにかきましよう)」 「たからさがしにちょうせんしよう(方位・地図記号・色(土地利用)についてふり返りながら、たからをさがそう(下の1~5を手がかりにして、たからをさがそう。))」</p> <p>◇「地図帳の使い方」(P17~20)「地図帳の色は、土地の使われ方や、陸の高さを表しています。下の図でたしかめてみましょう。」 「二つの市(浜松市と豊橋市)の都市の記号と記号の間の長さを、ものさしではかってみよう。」 「はかった長さを「地図のものさし」に当てて、じっさいのきょりを調べよう。」</p>

調査項目	02 東書
	<p>◇「中国地方」(P25～26)「中国地方の瀬戸内海に面した地域で、さいばいがさかんな果物を地図から探し出そう。」 「中国自動車道と山陽自動車道を指でなぞってみよう。」</p> <p>◇「四国地方」(P27～28)「松山から神戸まで自動車で行く経路を三つ探して、指でたどってみよう。」</p> <p>◇「近畿地方」(P29～32)「次のものは近畿地方の各府県にあるかな？29～32 ページを見て、あるもの○をつけよう。「大阪から、京都、奈良、神戸までの鉄道線を指でなぞろう。また、およそのきよりははかろう。」</p> <p>◇「京都市中心部」(P33～34)「京都市、奈良市、斑鳩町の位置を31～32ページの地図から探してみよう。」</p> <p>◇「福井県、石川県、富山県」(P37)「福井県、石川県、富山県には、古くから受け継がれてきた伝統工芸がたくさんあるよ。地図から10個以上見つけてみよう。」</p> <p>◇「中部地方」(P39～40)「地図中から豊田市を探そう。」</p> <p>◇「関東地方」(P43～44)「東京駅周辺をスタート地点にして、高速道路を指でたどってみよう。」</p> <p>◇「東北地方」(P48～50)「りんごの記号を探そう。」「東北地方は木からつくる伝統工芸品が多くあるよ。そのなかから三つ探してみよう。」「太平洋側と日本海側の海岸線の形のちがいを見つけてみよう。」</p> <p>◇「北海道地方」(P51～52)「札幌市と旭川動物園の直線きよりははかろう。大阪市と名古屋市の直線きよりとどちらがはなれているかな。」</p> <p>◇「世界全図と地球儀」(P53～54)「地球儀を使って調べる」「地球儀をまわしてみよう」「方位を調べよう」「きよりを調べよう」「大きさ、形を調べよう」</p> <p>◇「ユーラシア、北極」(P55～56)「北極海をかこんでいる国をすべて見つけよう。」</p> <p>◇「アジア」(P57～58)「中華人民共和国と陸で接している国は、いくつあるだろう。数えてみよう。」「この地図の中には、世界でいちばん高いところといちばん深いところがあるよ。探してみよう。」</p> <p>◇「北アメリカ、南アメリカ」(P63～64)「南北アメリカ大陸の東側と西側の海をつなぐ運河を見つけてよう。」</p> <p>◇「日本の歴史(世界とのかかわり)」(P77～78)「地球儀で航路をたどってみよう。」</p> <p>◇「日本の伝統文化」(P82)「あなたの住んでいる地域の伝統文化(建物、街並み、祭り、郷土料理など)を調べましょう。」「ほかの世界遺産などについても調べてみましょう。」</p> <p>◇「世界のおもな国の統計」(P86)「南を上にしてえがかれているよ。53～54ページの地図と比べてみよう。」</p> <p>◇「日本の自然災害」(P99)「自分の地域のハザードマップを見て、①どこで、どんな災害が起こりやすいか②ひんなんする場所とそこまでの道のりを確認しておこう。」</p>

46 帝国
<p>◇「関東地方南部」(P65～66)「東京ディズニーランドの絵をさがしてみよう。」「市街地の広がり東京・大阪・名古屋で比べてみよう。一番広がっているのは、どこかな。」</p> <p>◇「日本の首都・東京、江戸(江戸時代後期)」(P67～70)「長屋があった町人地を地図と〈イ〉のグラフで確認しよう。」「67～68 ページの現在の東京の海岸線と、江戸の海岸線を比べよう。どのようなちがいがあかな。」</p> <p>◇「北海道地方」(P77～78)「111ページの統計を見て、北海道の面積は沖縄県のおよそ何倍か調べてみよう。」</p> <p>◇「北海道地方南部」(P79～80)「北海道の食材を使ってカレーライスをつくろう。どこでとれる何を使うか、ノートに書いてみよう。」</p> <p>◇「世界と地球儀」(P81～82)「地球儀を使おう」(「①位置を表す緯度と経度」「②方位を調べる」「③きよりを調べる」「④面積、⑤形を調べる」)</p> <p>◇「アジア・オセアニア」(P83～84)「世界一高い山「エベレスト」の高さは何mかな。」「マーボー豆腐の絵をさがして、どこの国の料理か答えよう。」「オーストラリアでたくさんとれる原料品は何かな。また、それが日本に運ばれるルートを指でたどってみよう。」</p> <p>◇「アジア」(P85～86)「日本に石油を運ぶ船の航路を指でたどり、通過する海峡の名前を二つ答えよう。」</p> <p>◇「ヨーロッパ」(P89～90)「ヨーロッパの国から日本へ伝わった言葉を地図からさがして、一つ答えよう。」</p> <p>◇「アメリカ合衆国」(P93～94)「日本がアメリカ合衆国から輸入している、小麦とたいずをさがしてみよう。また、114ページの②図を見て、アメリカ合衆国がしめる割合をそれぞれ答えよう。」</p> <p>◇「日本の自然災害と防災(1)」(P99～100)「みんなの住んでみたい地域は、どのような自然災害が多いか、話し合ってみよう。」</p> <p>◇「日本の自然災害と防災(2)」(P101～102)「防災マップづくり」(町歩きで学校のまわりの防災マップをつくって、災害のときに危険な場所、安全な避難方法などを考えてみましょう。)</p> <p>◇「日本の産業のようす(1)」(P103～104)「田が広がっているところの地形の特徴を95～96ページの②図から説明してみよう。」</p> <p>◇「さくいん」(P115)「あなたの住んでいる地区町村をさくいんからさがし、下の空らんに入記しよう。」「下の三つの地名を、さくいんを手がかりに地図帳の中からさがしてみよう。(つる 都留[山梨] さくら[栃木] かに 可児[岐阜]」</p> <p>◇「オリンピックを開催したことがある下の二つの地名を、さくいんを手がかりに地図帳の中からさがしてみよう。(リオデジャネイロ [ブラジル] パリ [フランス])</p> <p>◇「日本の世界遺産」(P127)「世界自然遺産を一つ選び、33～38ページの中からさがしてみよう。」</p>

教科・種目名 地図 調査研究事項

調査項目	02 東書
問題解決的な学習の設定数	◇14箇所

46 帝国
◇「都道府県の名前と位置」(P128) 「都道府県の名前に いている文字に注目してみよう。下の⑥⑦⑧⑨の漢字が つく都道府県をさがしてみよう。(⑥山⑦川⑧島⑨動物 〈熊・鳥・鹿・馬〉)」
◇12箇所

教科・種目名 地図 調査研究事項

別表5

調査項目	02 東書
発展的な学習内容や今日的な課題の取り扱い (第3学年)	<p>発展的な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「地図はどのようにして北が上」(p9)</li> <li>◇「日本のそのほかの地図記号」(p10)</li> <li>◇「世界の地図記号」(p10)</li> <li>◇「マップでジャンプ 10 オリジナルの地図記号を考えてみよう」(p10)</li> <li>◇「京都市中心部」(p33)</li> <li>◇「マップでジャンプ 33 次の場所はどこかな。」(p34)</li> </ul>
発展的な学習内容や今日的な課題の取り扱い (第4学年)	<p>発展的な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「マップでジャンプ 1 5 京都市の周辺でさかんな産業を知りたいな。」(p14)</li> <li>◇「京都市中心部」(p33)</li> </ul> <p>今日的な課題の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇だれひとり取り残さない世界をめざして (p96)</li> </ul>
発展的な学習内容や今日的な課題の取り扱い (第5学年)	<p>発展的な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「同じ緯度、同じ縮尺の日本」(p59)</li> <li>◇「同じ緯度、同じ縮尺の日本」(p62)</li> <li>◇「同じ緯度、同じ縮尺の日本」(p63)</li> <li>◇「同じ緯度、同じ縮尺の日本」(p64)</li> <li>◇「漁港の様子」(p72)</li> </ul> <p>今日的な課題の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇だれひとり取り残さない世界をめざして(p96)</li> </ul>
発展的な学習内容や今日的な課題の取り扱い (第6学年)	<p>発展的な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「マップでジャンプ 24 この地図の福岡県の中に、古くから日本とアジアのかかわりがあったことがわかる場所が複数あるよ」</li> </ul> <p>今日的な課題の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇だれひとり取り残さない世界をめざして(p96)</li> </ul>

46 帝国
<p>発展的な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「地図のやくそく(3)」たからさがしにちょうせんしよう(p16)</li> <li>◇「地図帳の使い方」1 記号に注目しよう(p17~p18)</li> <li>◇「京都市中心部」(p54)</li> </ul>
<p>発展的な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「京都市中心部」(p54)</li> <li>◇「①日本の世界遺産」(p127)</li> <li>◇「日本の自然災害と防災(2)」くり返される津波と先人たちが残した教訓(p101)防災マップづくり、地図マスター82(p102)</li> </ul> <p>今日的な課題の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「持続可能な開発目標(SDGs)」カンボジア(p125)</li> <li>◇「世界のSDGs」バングラデシュ サイクロンから身を守る(p84)</li> </ul>
<p>発展的な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「世界と地球儀」世界の陸地と面積(p82)</li> <li>◇「同じ緯度に置いた同じ縮尺の日本」(p89)</li> <li>◇「同じ緯度に置いた同じ縮尺の日本」(p91)</li> <li>◇「同じ緯度に置いた同じ縮尺の日本」(p92)</li> <li>◇「同じ緯度に置いた同じ縮尺の日本」(p93)</li> <li>◇「同じ緯度に置いた同じ縮尺の日本」(p94)</li> </ul> <p>今日的な課題の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「世界のSDGs」コスタリカ 大自然を守りながら楽しもう！(p92)</li> <li>◇「世界のSDGs」カナダ 林業を持続可能に！(p93)</li> <li>◇「日本と世界の結びつき貿易・食料問題・観光 日本の食料問題 日本の食品ロス」(p108)</li> <li>◇「持続可能な開発目標(SDGs)」(p125~p126)</li> </ul>
<p>発展的な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「江戸時代の結びつき歴史」(p55~p56)</li> <li>◇「江戸(江戸時代後期)」(p69~p70)</li> <li>◇「日本の歴史」(p109~p110)</li> </ul> <p>今日的な課題の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「世界のSDGs」レバノン 難民の女の子のための学校設立(p85)</li> <li>◇「世界のSDGs」スーダン 難民キャンプでの支援(p88)</li> <li>◇「世界のSDGs」ドイツ パラスポーツのさかんな国(p90)</li> <li>◇「持続可能な開発目標(SDGs)」(p125~p126)</li> </ul>

教科・種目名 地図 調査研究事項

調査項目	02 東書
中学校との連携への配慮	<p>◇「日本の歴史 世界とのかかわり①②」(p77～p80)中学校「世界の歴史」に関わって、日本の歴史年表とともに、当時の世界の様子の地図が掲載されている。</p> <p>◇「日本の自然」日本と世界のおもな山、日本と世界のおもな川、日本と世界のおもな湖、湖の深さくらべでは世界地理に関わってそれぞれ比較ができる。(p68)</p> <p>◇「世界のおもな国の統計」(p85～p86)世界地理に関わっている。</p>

46 帝国
<p>◇「世界の統計」(p113～p114)では世界地理と関わる統計資料が掲載されている。</p> <p>◇「日本の自然のようす(1)」比べてみよう(p96)では世界地理に関わって、おもな川の長さ、山の高さ、おもな湖の広さと深さを世界と比較できるようになっている。</p>

教科・種目名 地図 調査研究事項

別表6

調査項目	02 東書
他教科の学習や総合的な学習（環境・国際理解・福祉・キャリア教育等）との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇外国語活動「地図のぼうげんに出発 World Map」「世界のみんなにありがとう」(p1～p3)</li> <li>◇理科「方位を調べよう」(p9)「日本の自然 気候」(p69～p70)「日本の自然災害」(p97～p99)</li> <li>◇家庭科「世界のみんなにありがとう」(p1～p3)「日本の食文化」(p82)「日本の都道府県の統計 おもな農水産物・郷土料理」(p84)</li> <li>◇算数科「地図のきまり 凡例、きより」(p11)「世界全図と地球儀 きよりを調べよう」(p53)</li> <li>◇国際理解教育「世界のみんなにありがとう」(p1～p3)「ユーラシア北極」「アジア」「アフリカ」「ヨーロッパ」「北アメリカ」「オセアニア」世界各地の特産物・料理・固有の動物・著名人などのイラスト(p55～p66)「アフリカに生息するおもな動物たち」「世界のいろいろな動物たち」(p60)「ヨーロッパのいろいろな料理」「世界のいろいろな料理」(p62)「オリンピックとワールドカップ」(p85)</li> </ul>
道徳教育との関連（自然への親しみ、郷土の文化や生活への親しみなど）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇自然への親しみ「日本の自然の様子 地形」(p67～p68)</li> <li>◇郷土の文化や生活への親しみなど「日本の 47 都道府県マップでジャンプ 2」(p4～p6)「日本の伝統文化 歴史的景観、祭り、食文化」(p81～p82)「日本の都道府県の統計 おもな伝統工芸品」(p84)「京都市中心部」「斑鳩町付近」「奈良市中心部」(p33～p34)「首都東京」(p45～p46)</li> </ul>
人権教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「アイヌ語地名」(p52)</li> <li>◇「だれひとり取り残さない世界をめざして」(p96)</li> </ul>

46 帝国
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇外国語活動「①地図で世界発見！ 世界の国からこんにちは」(p1～p3)</li> <li>◇理科「地図のやくそく(1) 方位 方位じしんの使い方」(p11)「日本の自然のようす(2) 気候」(p97～p98)</li> <li>◇家庭科「世界の国からこんにちは」(p1～p3)</li> <li>◇算数科「地図帳の使い方(2) さくいん・縮尺・きより」(p20)「世界と地球儀 ③きよりを調べる」(p82)</li> <li>◇環境教育「江戸(江戸時代後期) リサイクルが進んでいた江戸の商売」(p70)「世界のSDGs カナダ 林業を持続可能に！」(p93)「日本の産業のようす(2) 工業・エネルギー 2 日本の発電」(p106)「日本の統計 くらしと環境」(p112)</li> <li>◇「持続可能な開発目標(SDGs)」世界の二酸化炭素排出の原因(p126)</li> <li>◇国際理解教育「①地図で世界発見！ 世界の国からこんにちは」(p1～p3)「生まれ！世界の子どもたち オーストラリア」(p84)「生まれ！世界の子どもたち サウジアラビア」(p85)「生まれ！世界の子どもたち タンザニア」(p88)「生まれ！世界の子どもたち フィンランド」(p90)「生まれ！世界の子どもたち ペルー」(p92)「生まれ！世界の子どもたち アメリカ合衆国」(p93)「日本と世界の結びつき貿易・食料問題・観光 ③世界の食料問題 ④日本と世界の人を通じた結びつき」(p108)「アジア・オセアニア」「アジア」「ヨーロッパ・アフリカ」「ヨーロッパ」「北アメリカ・南アメリカ」「アメリカ合衆国」世界各地の特産物・料理・固有の動物・著名人などのイラスト(p83～p94)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇自然への親しみ「日本の自然のようす(1) 地形」(p95～p96)</li> <li>◇郷土の文化や生活への親しみなど「①地図で日本発見！」(p4～p6)「日本の統計 おもな伝統工芸品と生産都市」(p112)「日本の世界遺産」(p127)「大阪市中心部」(p51～p52)「①奈良中心部②斑鳩町付近③明日香村付近」(p53)「④京都市中心部」(p54)「①日本の首都・東京」(p67～p68)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「北海道地方 北海道のアイヌ語地名」(p78)</li> <li>◇「日本と世界の人を通じた結びつき 日本で暮らす外国人の出身地」(p108)</li> <li>◇「世界のSDGs」レバノン 難民の女の子のための学校設立(p85)</li> <li>◇「世界のSDGs」スーダン 難民キャンプでの支援(p88)</li> <li>◇「世界のSDGs」ドイツ パラスポーツのさかんな国(p90)</li> <li>◇「持続可能な開発目標(SDGs)」(p125～p126)</li> </ul>



教科・種目名 地図 調査研究事項

別表 7

調査項目	02 東書
ユニバーサルデザイン化に向けた取組例	<p>◇カラーユニバーサルデザインの観点から全ページにわたり配色およびデザインに配慮している。</p> <p>◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>
一般図の地名や資料における文字の書体、大きさ等、児童の発達への配慮	<p>◇書体は何種類かで表記している。漢字にはふりがなをふっている。太文字にしたり大きさや色を変えたりしている。</p>
児童にとって親しみやすい、表記・表現、文章量の配慮	<p>◇全ての漢字にふりがなを付けている。</p> <p>◇先生と小学生のキャラクターが登場するページでは、地図の見方のポイントや地図学習の課題へのヒントなどを吹き出しにて口語表現で伝えている。</p>
児童の発達の段階に応じた図表、挿絵、写真等の資料の配慮と学習効果を高める工夫	<p>挿絵</p> <p>◇日本と世界の地図においては、特産物や工業製品・料理・地形やおもな建物などをイラストにして地図上に配置している。(p19～p66)</p> <p>写真</p> <p>◇「日本列島—九州から北海道—」では、空港・高速道路・貨客船・新幹線の写真を掲載し、交通の様子を示している。(p17)</p> <p>◇「近畿地方」では、金閣や東大寺の大仏像の写真を掲載し、歴史学習と関連づけている。(p34)</p> <p>◇「首都東京」では、新宿の高層ビル群と富士山の写真やと東京タワーと東京スカイツリーの写真を掲載し、首都の風景を示している。(p45)</p> <p>◇「世界全図と地球儀」では、旧グリニッジ天文台の写真を掲載し、本初子午線を示している。(p54)</p> <p>◇「世界の全図と地球儀」では、地球儀を使用する写真を掲載し、地球儀の使い方を示している。(p54～p55)</p> <p>◇「アフリカ」では、世界のいろいろな動物たちの写真を示している。(p60)</p> <p>◇「ヨーロッパ」でのヨーロッパや世界のいろいろな料理の写真を掲載している。(p62)</p> <p>◇「オセアニア」では、オーストラリアの12月の様子の写真を掲載し、南半球の気候が日本の逆であるということを示している。(p66)</p> <p>◇「日本の自然 地形」では、日本と世界の山の写真を掲載している。(p68)</p> <p>◇「日本の産業 水産業」では、焼津港のかつおの水揚げの写真を掲載し、船上での冷凍の様子を示している。(p72)</p> <p>◇「日本の産業 工業」では、自動車組み立て工場の写真、海沿いに広がる製鉄所の写真を掲載し、規模の広大さを示している。(p73)</p> <p>◇「日本の交通、都市」では、高速道路やジャンクションの写真を掲載している。(p74)</p>

46 帝国
<p>◇カラーユニバーサルデザインの観点から全ページにわたり配色およびデザインに配慮している。</p> <p>◇ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>
<p>◇書体は何種類かで表記している。漢字にはふりがなをふっている。太文字にしたり大きさや色を変えたりしている。</p>
<p>◇全ての漢字にふりがなを付けている。</p> <p>◇スズメの先生と小学生のキャラクターが登場するページでは、地図の見方のポイントや地図学習の課題へのヒントなどを吹き出しにて口語表現で伝えている。</p>
<p>挿絵</p> <p>◇日本と世界の地図においては、特産物や工業製品・料理・地形やおもな建物などをイラストにして地図上に配置している。(p21～p94)</p> <p>写真</p> <p>◇「地図ってなんだろう 真上から見たまちのようす(写真)」(p9)見開きで写真と地図を比較できるよう工夫している。</p> <p>◇「地図のやくそく(3)」では、「①土地の使われ方を色分けしよう」において、土地利用についての写真を掲載している。(p15)</p> <p>◇「奈良市中心部」では、奈良公園を訪れる外国人観光客の写真を掲載し、奈良公園には海外の観光客が訪れることを示している。(p53) また、「京都市中心部」空から見た京都市中心部の写真も掲載している。(p54)</p> <p>◇「江戸(江戸時代後期)」では、江戸時代及び現在の日本橋の写真が掲載されている。(p70)</p> <p>◇「世界と地球儀」では、地球儀を使用する写真を掲載し、地球儀の使い方を示している。(p81～p82)</p> <p>◇「集まれ!世界の子どもたち オーストラリア」(p84) 「集まれ!世界の子どもたち サウジアラビア」(p85) 「集まれ!世界の子どもたち タンザニア」(p88) 「集まれ!世界の子どもたち フィンランド」(p90) 「集まれ!世界の子どもたち ペルー」(p92) 「集まれ!世界の子どもたち アメリカ合衆国」(p93)では、いずれの写真も、子どもたちを通しての生活習慣の違いを示している。</p> <p>◇「世界のSDGs」バングラデシュ サイクロンから身を守る(p84)、「世界のSDGs」レバノン 難民の女の子のための学校設立(p85) 「世界のSDGs」スーダン 難民キャンプでの支援(p88) 「世界のSDGs」ドイツ パラスポーツのさかんな国(p90) 「世界のSDGs」コスタリカ 大自然を守りながら楽しもう!(p92) 「世界のSDGs」カナダ 林業を持続可能に!(p93)では写真と文章により、SDGsに関連する世界の様子を示している。</p> <p>◇「日本の自然災害と防災(1)」では、5点の写真により自然災害の被害を示している。(p99～p100)</p>

教科・種目名 地図 調査研究事項

調査項目	02 東書
<p>児童の発達段階に応じた図表、挿絵、写真等の資料の配慮と学習効果を高める工夫</p>	<p>◇「日本の貿易」では、自動車の積み出し港の写真に掲載し、貨物船の大きさや自動車の台数の多さを示している。(p76)</p> <p>◇「日本の伝統文化」では、日本の歴史的景観や世界遺産や食文化の写真の写真を掲載している。(p81～p82)</p> <p>◇「日本の自然災害」近年のおもな自然災害の様子を表す写真を掲載し、災害の被害を示している。(p97～p98)</p>
<p>デジタルコンテンツ（二次元コード等）の内容とその数</p>	<p>内容 二次元コード(p5) ホームの項目 外部リンク下記2つ</p> <p>◇「コンピューターを学習に生かそう」は動画などでコンピューターを使用する準備や使い方やルールなどの情報リテラシーが掲載されている。(外部サイト)</p> <p>◇「SDGs わたしたちがつくる未来」は「Edu Town SDGs」にジャンプし、17goalsの詳細やオリエンテーション動画が観られる。(外部サイト) 外部リンク以外の6項目</p> <p>◇「地図のぼうけんに出発/日本の47都道府県」「地図を学ぼう」「日本列島」「世界」「その他」「学習に役立つリンク集」</p> <p>二次元コード(p4)「地図のぼうけんに出発!/日本の47都道府県」</p> <p>◇「ホップステップマップでジャンプの答え p1-p16」</p> <p>◇「ホップステップマップでジャンプがんばりシート」デジタル上で日本をスタートとしてレベルの数だけ色を塗り、世界をめぐる147個目にまた日本に戻る。ただし直接画面上で色を塗ることは不可。</p> <p>◇「都道府県いくついえるかな」都道府県名の選択肢が4つある。ヒント1形、ヒント2位置、ヒント3特産物、ヒント4特色、ヒント5県庁所在地の順に5秒くらいごとに変化していく。その間に選択すると次の問題に進める。ランダムで10問出題される。</p> <p>◇「ビンゴ!都道府県かるた」9枚のカルタ(都道府県の頭文字がかな表記とイラスト)が並んでいる。読札を自分で開くと、575で最後に都道府県名がある。9枚の中にあれば、札をタップする。なければパスをタップする。また、縦横斜めで札が揃うと、ビンゴのように点数がアップする。</p> <p>◇「なるほど!47都道府県クイズ」都道府県名の選択肢が4つある。ヒント1～ヒント3と文章表記のヒントがより平易になる。ヒント3までに選択肢をタップする。ランダムで10問出題される。</p>

46 帝国
<p>◇「日本の産業のようす(1)農水産業」では、みかんの収穫の写真とかつおの水揚げの写真を掲載し、生産の現場を示している。(p104)</p> <p>◇「日本の歴史 歴史」では、きり通しの写真を掲載し、歴史学習と関連させている。(p109)</p> <p>◇「持続可能な開発目標(SDGs)」では、4点の写真により、各地の取組の様子を示している。(p125～p126)</p> <p>◇「①日本の世界遺産」では、15点の写真を掲載し、は世界遺産の様子を示している。(p127)</p>
<p>内容 二次元コード(p1)</p> <p>◇「1～3ページ 地図で世界発見!」は「地図で世界発見!」(p1～p3の地図が英語とポルトガル語にアイコンで変わる。」「世界のあいさつ」(開けず)「世界全図(国別色分け)」(p130～p132の地図)の3つのコンテンツ。</p> <p>二次元コード(p4)</p> <p>◇「4～6ページ 地図で日本発見!」は「地図で日本発見!」(p4～p6の地図が英語とポルトガル語にアイコンで変わる。」「地図で日本発見地勢」(p99～p100の日本列島地図)「地図で日本発見!(四季の動画)」(1月から12月までの雲の様子や海の様子、桜前線、ツバメの飛来、台風などの自然現象がイラスト動画で表現されている。)</p> <p>二次元コード(p7)</p> <p>◇「地図の世界へようこそ」は地図が土地を上から見たものであることがわかるスライドになっている。</p> <p>二次元コード(p9)</p> <p>◇「地図ってなんだろう」学校の正面から真上にアングルが変わり、最終的にp9と同じ写真で終わるドローン映像になっている。そしてp10の絵地図に変わる。さらに学校のまわりのVR画像もあり、p9～p10の写真や地図と比べることができる。</p> <p>二次元コード(p11)</p> <p>◇「方位」方位記号の説明のスライドと?マークで八方位が隠れているクイズに続く。その後、p12のトライの問題になる。方位記号を動かして解ける。さらには、p十二の地図の東西南北の実際の風景を動画で360度確認できる。</p>

調査項目	02 東書
	<p>二次元コード(p9)「地図を学ぼう」</p> <p>◇「ホップステップマップでジャンプの答え p1-p16」</p> <p>◇「四方位・八方位」四方位は方位のカードを空欄に当てはめる。全問正解するとステージが進む。ステージごとに空欄が増えていき、最終的に全てを答える問題1問で終わる。八方位では、最初2空欄から始まる。四方位同様、空欄が増えて、全問正解ごとにステージが進む。最終的に全て答える問題1問で終わる。なお、四方位と八方位をクリアすると、タイムアタック4、タイムアタック8ができるようになり、30秒間で何回四方位を完成できるか、1分間で何回八方位を完成できるかにチャレンジできる。</p> <p>◇「地図記号わかるかな？」地図記号が表示されて、3問の選択肢から答えを選ぶ。ランダムに10問出題される。</p> <p>◇「きよりははかってみよう（縮尺）」2分12秒の動画。東北地方の地図で解説しながら実際にきよりを求めている。</p> <p>◇「等高線についてたしかめよう」1分48秒の等高線の解説動画。駒ヶ岳を例にしている。(p12)</p> <p>◇「地図帳の使い方をたしかめよう」「地図帳の使い方をたしかめよう」ではさくいんの使い方を解説している。「かしわ」を例にしている。(p13)そのまま「地名をさがそう」では4問実際に探す時ことができるようになっている。</p> <p>二次元コード(p11)「地図を学ぼう」</p> <p>◇「きよりははかってみよう（縮尺）」「等高線についてたしかめよう」「地図帳の使い方をたしかめよう」</p> <p>二次元コード(p13)「地図を学ぼう」</p> <p>◇「地図帳の使い方をたしかめよう」</p> <p>二次元コード (p20、22、25、28、29、37、38、42、48、51)</p> <p>◇「沖縄島」(p20)「九州地方」(p22)「中国地方」(p25)「四国地方」(p28)「近畿地方」(p29)「福井県、石川県、富山県」(p37)「新潟県」(p38)「関東地方」(p42)「東北地方」(p48)「北海道地方」(p51)の10個の二次元コードについては「日本列島」のページでそれぞれの地方別にジャンプする。共通して「ホップステップジャンプの答え（日本）」と各都道府県の白地図と地図帳掲載の地図を開くことができる。さらに、中部地方については「空から見てみよう！海津市」関東地方については「空から見てみよう！孺恋村」東北地方については「空から見てみよう！庄内平野」北海道地方については「空から見てみよう！十勝平野」のドローン動画も開くことができる。また「京都市中心部」(p33)「首都東京」(p45)の2つの二次元コードは、都市圏という項目が開かれる。そこではホップステップジャンプの答え（日本）とともに、京都、奈良、東京、鎌倉、日光の地図も開くことができる。</p>

46 帝国
<p>二次元コード (p13)</p> <p>◇「地図記号」p13の絵で表した地図と地図記号で表した地図を比較して地図記号の地図がわかりやすいことを説明するスライドの後、p14のいろいろな地図記号が青い付箋をはがして確認できるようになっている。その後、トライ！で市役所、寺、図書館を探してタップすると「あたり！」と出る。画面内の「地図記号クイズ」にジャンプできる。地図記号クイズは、地図記号が現れて、3つの選択肢から選ぶクイズである。32問ある。</p> <p>二次元コード(p15)</p> <p>◇「色に着目しよう」p15の土地利用の色分けがスライドで解説されている。その流れで、クイズ形式で「田の広がる場所」などを画面でタップして確かめるようになっている。</p> <p>二次元コード(p17)</p> <p>◇「陸の高さと地図のしくみ」p18の等高線の仕組みを動画で説明している。</p> <p>二次元コード(p19)</p> <p>◇「地図のやくそくごと」にジャンプする。先述の「地図の世界へようこそ」「地図ってなんだろう」「方位」「地図記号」「色に着目しよう」「陸の高さと地図のしくみ」のほか「さくいんの引き方」「きより」「ドローン映像」がある。「さくいんの引き方」はp19の浜松を例にして、さくいんの引き方をスライドショーで説明している。縦と横の交わる部分については、時間割表を例としてあげている。「きより」ではp20を例にして直線距離を求める問題を解けるようになっている。物差しが画面上で可動式である。「ドローン映像は「地図ってなんだろう」の映像部分のみの抜粋である。</p> <p>二次元コード(p22、23、25、27、29)</p> <p>◇「①広く見わたす地図」九州地方(p22)中国・四国・近畿地方(p23)中部・関東地方(p25)東北地方(p27)北海道地方(p29)にある5個の二次元コードはいずれも1枚の地図であるが、それぞれの地方の部分を中心に開くことができる。</p> <p>二次元コード(p33)</p> <p>◇「南西諸島」(p33)「九州地方」(p35)「九州地方北部」(p37)「①中部地方」(p39)「①四国地方」(①瀬戸内海中心」(p43)「①近畿地方」(p45)「①近畿地方中部」(p47)「①中部地方」(p57)「①中部地方南部」(p59)「①新潟県」(p62)「①関東地方」(p63)「①関東地方南部」(p66)「①東北地方」(p74)「①北海道地方」(p77)「1 北海道地方南部」(p79)については47都道府県の地図というページにジャンプして、各都道府県のカラー地図を見ることができる。</p>

調査項目	02 東書
	<p>◇「学習に役立つリンク集」は5つの外部サイトにジャンプする。「Edu Town SDGs」「NHK for School」「キッズ外務省」「農林水産省こどもページ」「重ねるハザードマップ」</p> <p>二次元コード (p55、57、59、62、64、66、101)                  ◇世界のページでは、「ユーラシア、北極」(p55)「アジア」(p57)「アフリカ」(p59)「ヨーロッパ」(p62)「北アメリカ、南アメリカ」(p64)「オセアニア」(p66)「世界の国々」(p101)の11個の二次元コードについては、「ホップステップマップでジャンプの答え(世界・その他)」「世界全図の白地図」「世界全図」とそれぞれのページの白地図を開くことができる。</p> <p>二次元コード 項目数                  表題横にある二次元コード 10 個(p69~98)はいずれも「ホップステップマップでジャンプの答え(世界・その他)」を開くことができる。</p> <p>二次元コードの数                  ◇37 個で内容項目は上記の大きく6つである。白地図や地図のPDFを省くと11のデジタルコンテンツ(クイズや動画)がある。外部へのリンクは上記に記した5つである。</p>

46 帝国
<p>二次元コード(p51)                  ◇「①大阪府中心部」を開くと大阪(江戸時代後期)の様子                  の地図が表れる。</p> <p>二次元コード(p55)                  ◇「①江戸時代の結びつき」を開くと関ヶ原の戦いの鳥瞰                  図が表れる。</p> <p>二次元コード(p81)                  ◇「地球儀の使い方」が開き、以下の3つの動画を観ること                  ができる。「①距離を調べよう」では、紙テープを使った                  距離の測り方を実演している2分23秒の映像が開く。                  「②日本から見た方位を調べよう」では、紙テープを使                  った方位の調べ方に実演している2分28秒の映像が開                  く。「③面積を調べよう」ではトレーシングペーパーを                  使った面積の調べ方の実演している2分28秒の映像が                  開く。</p> <p>二次元コード(p85、89、93)                  ◇世界のページでは、「外国語の地図(アジア)」(p85)「外                  国語の地図(ヨーロッパ)」(p89)「外国語の地図(アメ                  リカ合衆国)」(p93)の地図が開く。</p> <p>二次元コード(p97)                  ◇「日本各地の気温と降水量」14都市の気温と降水量の表                  が開く。</p> <p>二次元コード(p99)                  ◇「地図で日本発見!地勢」の地図が開く。</p> <p>二次元コード(p101)                  ◇「日本の自然災害と防災」のページが開き、3つのコン                  テンツがある。1つ目は「防災マップづくり」(Windows                  では開く、iPhoneiOSでは開かなかった)p102の防災マ                  ップづくりの手順とそれぞれの項目の詳しい例と説明                  がマニュアル化されている。2つ目の「地図で学ぶ防災                  ポータル」では国土地理院のサイトが開く。3つ目は「地                  図で日本発見!地勢」がある。</p> <p>二次元コード(p103、105)                  ◇「日本の自然・産業」のページが開き、先述の「日本各                  地の気温と降水量」「あたたかい地方のくらしと産業(高                  知県)」の地図では野菜づくりの図、「あたたかい地方の                  くらしと産業(沖縄県)」では地下ダムによるかんがいの                  しくみの図「環境のまち北九州市」の地形図、「日本の統                  計」の5つのコンテンツがある。「日本の統計」では「面                  積・人口」「農業・漁業・林業」「鉱工業」「その他」の豊                  富な都道府県のデータをみることができる。「その他」で                  は、「1日1人あたりのごみ排出量」など、環境教育に関                  わるデータも含んでいる。</p>

調査項目	02 東書

46 帝国
<p>二次元コード(p109) ◇「日本の歴史・世界遺産」が開く。「日本の昔の国境」の地図、「鎌倉の様子」は鎌倉の絵地図と切通の写真、「関ヶ原の戦い」の鳥瞰図、「大阪(江戸時代後期)」の地図、「平安京(想像図)」、「日本の世界遺産」の地図と 26 枚の写真の 6 つのコンテンツを見ることができる。</p> <p>二次元コード(p111) ◇前述の「日本の統計」が開く。</p> <p>二次元コード(p113) ◇「世界の統計」が開く。197 カ国の「面積・人口」「農業・漁業・林業」「鉱工業」「貿易」「その他」についてのデータを見ることができる。</p> <p>二次元コード(p115) ◇前述の「さくいんの引き方」が開く。</p> <p>二次元コード(p125) ◇「SDGs」が開く。「SDGs の 17 のゴール」と「SDGs リンク集」が開く。</p> <p>二次元コード(p127) ◇前述の「日本の世界遺産」が開く。</p> <p>二次元コード(p128) ◇「128～129 ページ都道府県の名前と位置」見開き以下の 3 つのコンテンツがある「パズルクイズ」は左に都道府県名と形が出て、日本地図にタッチして場所を特定する。47 都道府県ランダムに出てくる。「スリーヒントクイズ」はヒントを 1 つずつタップして答えを見るをタップすると、答えが出てきた県庁所在地、地図での位置、人口、なんでも日本一という項目を確認することができる。47 都道府県がランダムに出題される。3 つ目のコンテンツは前述の「日本全図」である。</p> <p>二次元コード(p131) ◇「130～132 ページ世界の国々」が開き、以下の 3 つのコンテンツがある。「世界全図(国別色分け)」「逆さになった世界地図(南が上)」「スリーヒントクイズ(おもな国)」である。22 問ある。</p> <p>二次元コードの項目数 大きく 12、細かくは 95 ある。 二次元コードの数は 48 個ある。</p>

教科・種目名 地図 調査研究事項

調査項目	02 東書
効果的な目次、索引の提示方法	<p>効果的な目次</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇目次の左に種類別のアイコンがある。</li> </ul> <p>索引</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇左端にチェック項目がある。</li> <li>◇8個の記号で分類している。</li> </ul>
児童の使用に配慮した印刷・製本方法（加工、製本方法、紙、色遣い、装丁等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇すべての児童の色覚特性に適応するようにデザインしている。</li> <li>◇児童の負担に配慮し、軽量の紙を使用している。</li> <li>◇環境に配慮した用紙・植物性インキを使用している。</li> <li>◇グリーンプリンティング設定工場で印刷している。</li> <li>◇本の寸法は A4 版 (210×297)</li> </ul>

46 帝国
<p>効果的な目次</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇目次の左の色分けは、ツメの色と同じである。</li> </ul> <p>索引</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇左端の記号で、市、町、村、字、世界文化遺産、世界自然遺産がわかるようにしている。また、色によって都道府県名、県庁所在地、歴史地名、世界文化遺産・世界自然遺産、その他の地名を分類している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるように工夫している。</li> <li>◇U D フォントを使用している。</li> <li>◇軽くて耐久性に優れた再生紙を使用し、植物性インキで印刷している。</li> <li>◇本の寸法は A4 版 (210×297)</li> </ul>